

平成28年度 情報モラル紀要

～ 携帯・インターネット安全教室 道徳の学習との関連 ～

さいたま市立桜木小学校

1. ねらい

- ・インターネットや携帯電話のよさ（便利性）と危険（トラブル）について知る。
- ・正しい利用方法やマナーやルール、トラブルに巻き込まれた時の対処法について学習し、今後に活かせるようにする。
- ・道徳の学習と関連付け、「携帯電話のメールで友達とトラブルを起こす」題材を扱い、関連付ける。

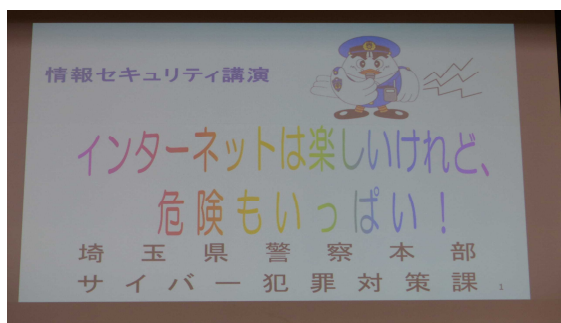
2. 指導計画

- ・インターネット利用規程を定め、全教職員の共通理解を図る。
- ・携帯・インターネット安全教室を受ける（対象5，6年生、希望した保護者）。
- ・第5学年道徳の「友達とのメール」の学習で、携帯電話のメールと友達とのトラブルについて授業を行う。

3. 実践例

○授業実践例

- ・NTT ドコモよりゲストティーチャーを迎え、「携帯・インターネット安全教室」を実施した。そこでメールで起こりうるトラブルの話だけでなく、ブログやプロフ、SNS(LINE や facebook など)の危険性について子ども向けに分かりやすく解説していただいた。内容もワンクリック詐欺やメールの内容の行き違いなど、子どもたちにとっても分かりやすく、身近な内容であった。



○道徳の学習との関連

- ・第5学年道徳の「友達とのメール」で、メールでの友達とのトラブルについて扱った。最後に「自分だったらどうするか」を振り返り、一人ひとりがメールと友達とのトラブルについて考える機会となった。

4. 成果と課題

- ・今年度は6年生でメールとラインで一件ずつ、トラブルがあった。メールの方は担任が仲介し解決したが、今後も道徳や総合の授業を通し、発達段階に応じた情報モラルの定着（相手を傷つけないメールの送り方やラインでの書き込みのマナーなど）を図っていく必要がある。